

AACの 基礎と臨床実践

講師 大城克彦 先生（なないろ高槻訪問看護ステーション）
川畑武義 先生（大阪保健医療大学）

コミュニケーションに困難を抱える方への支援では、単に機器やツールを導入するだけでなく、その人が生活の中で「伝える」「理解する」「人とつながる」「活動に参加する」ことをどのように保障するかが重要です。本セミナーでは、AACの基本的な考え方から、小児領域における発達に応じた支援、重症心身障害児へのICT活用、さらに神経筋難病やALSにおけるAAC・入力装置・制度、病状の進行やALS-FTDを踏まえたコミュニケーション支援まで、全4回を通して幅広く学びます。言語・非言語を含むさまざまなコミュニケーション手段を活用し、本人の能力だけでなく、コミュニケーションパートナーや生活環境にも目を向けながら、その人らしいコミュニケーションと社会参加を支えるための視点と実践方法を考えます。

第1回

11/6
(金)

AAC総論

ーおさえておきたい基本的な考え方ー

AACの基本的な考え方と、コミュニケーションの評価、本人・パートナー・環境を含めた支援の視点について学びます。

第2回

11/13
(金)

小児領域のAACと重症心身障害児へのICT支援

ー発達と生活に応じたコミュニケーション支援ー

小児の事例を通して、発達や生活に応じたAAC支援について考えます。あわせて、重症心身障害児へのICT活用について紹介します。

第3回

11/20
(金)

神経筋難病患者のコミュニケーション支援

ー各種AAC・入力装置・制度の理解ー

神経筋難病に用いられるさまざまなAACや入力装置、アクセシビリティ機能、支援制度について学びます。

第4回

11/27
(金)

ALSにおけるコミュニケーション支援の実際

ーALS-FTDの理解と症状に応じたAAC支援ー

ALSの身体症状やALS-FTDを理解し、病状や症状の変化に応じたコミュニケーション支援とSTの役割について学びます。

開催方法

オンライン (Zoom)

時間

19:00~20:15

参加費

1講座につき 当研究所会員1,000円 非会員3,000円

お申込み

右記のQRコードからお申込みください。

*詳しくはホームページ <https://fc-science.or.jp> をご覧ください。

